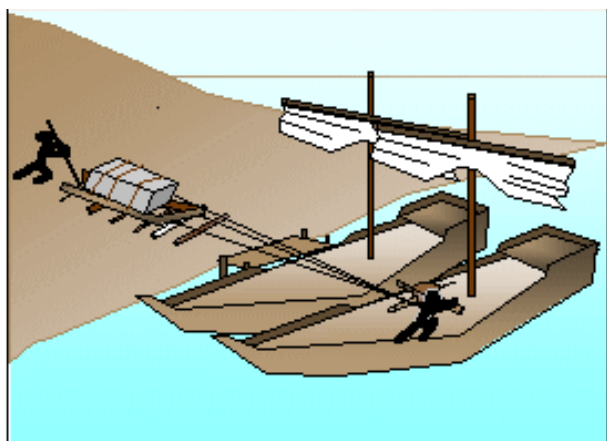
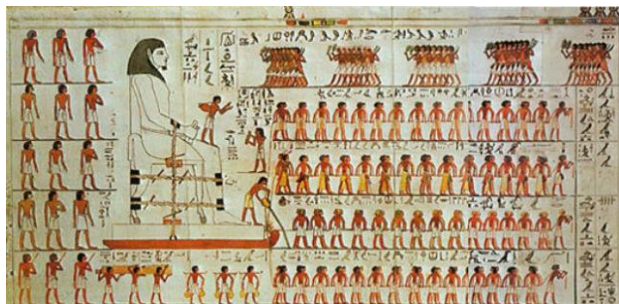


“てこ棒”で石を運ぶ

青森・野呂茂樹

ピラミッドやお城の石垣の大きな石（家庭学習用机の大きさ位の石の重さは数トンです）を運ぶのに、てこ棒やコロが使われています。



（*図・写真は WEB から引用）。

簡易な道具で、実験してみましょう。

【てこ棒】

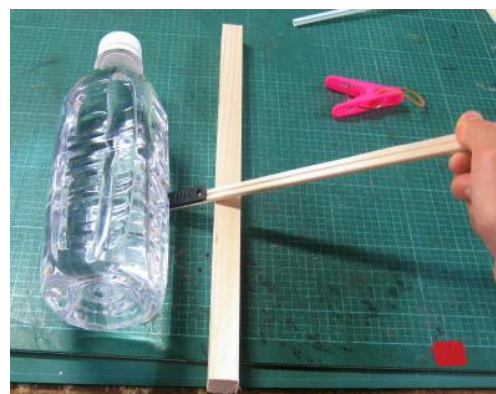
画鋸取り（抜き）を接着剤で割り箸の端に接着します（写真の一番下）。



写真上は、金属製の市販のバール、
中は、木棒の端を斜めにカットしたものを。

画鋸を抜いてみましょう。柄の長い方が小さな力で抜くことができます。

水の入ったペットボトルも簡単に動かすことができます。



【石を運ぶ・ミニミニ実験】

①石（園芸・庭づくり用）の片側に、てこ棒で隙間をつくり、コロ（ストローを使用）を数本差し込みます。



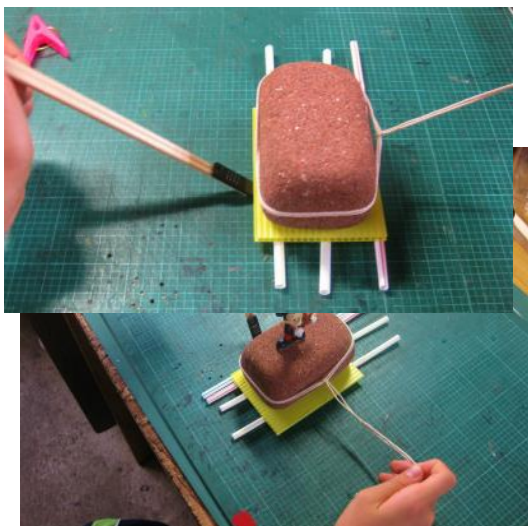
②石を動かし、ソリ（台：プラ段使用）に載せます。



③てこ棒でソリの下に隙間をつくり、コロを数本差し込みます。



④てこ棒で押ししたり紐をつけて引っ張ったりし、石を動かします。

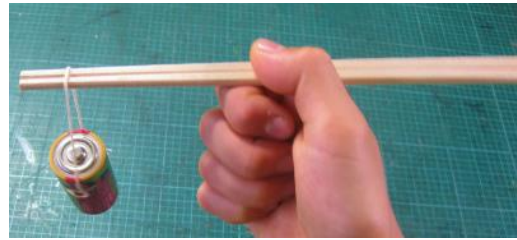


【発展】

①割り箸の一端におもり（単1／単2乾電池）を吊るします。



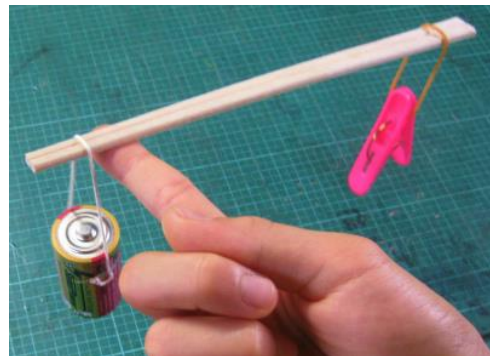
②片方の手で持ちます。手の位置によって手応えが大きく違います。



④もう一方の手の指でも支えます。指の位置によって手応えが違います。



⑤ 左右に重さの違うおもり（単2乾電池と洗濯バサミ）を下げ、指でバランスを水平になるようにしましょう。



【動画】

<https://youtu.be/QHLE-81Z5Uw>